

地域社会における環境保護活動

エコロジー・コミュニティ活動（滋賀支店）

琵琶湖を擁し、環境こだわり県として環境意識の高い滋賀県において、滋賀支店は、NTT西日本におけるエコロジー・コミュニティ活動のモデル支店として、「未来に残そう、美しい琵琶湖（うみ）を合言葉に、県内のNTTグループ各社と一体となって地域に密着した以下のような多彩な環境保護活動を展開しています。

バーチャル・エコロジー・コミュニティ・プラザの開設

淡海（おうみ）ネットワークセンター（*1）と連携し、支店の環境保護活動の取組み状況やNPO・地域住民等から発信される各種情報を通して交流を図る「エコロジー・コミュニティ・プラザ」をホームページ上に開設しました。

 ホームページ <http://www.ntt-west.co.jp/shiga/eco/>

あわせて、情報通信技術（IT）に関する研修会やセミナーも開催しています。

*1 淡海ネットワークセンター：県、市町村の出資により「県民の自主的で営利を目的としない社会的活動を総合的に支援」することを目的に平成9年4月設立。（財）淡海文化進行財団が運営

「市民参加型環境情報ネットワーク」活動

滋賀県とNTT生活環境研究所との共同プロジェクト「市民

参加型環境情報ネットワーク」の参加メンバーとして、赤野井湾流域で「電子野帳（*2）」を活用した環境調査の支援を行いました（図）。また、NTT東日本岩手支店と連携を図り、インターネットやTV会議を用いた、岩手県・滋賀県の学校間交流も進めています。

この他、県内で開催された各種環境イベントへの参画や、地域環境美化活動（環境クリーン作戦）など、多彩な活動を行いました。

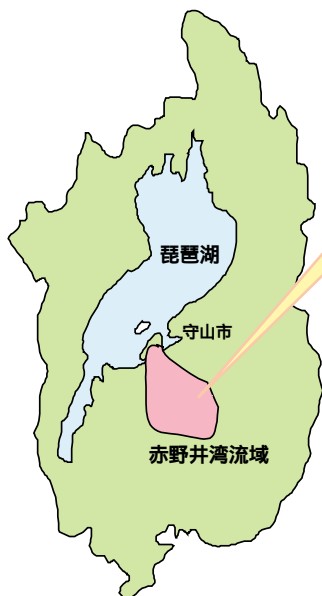
*2 電子野帳：野帳とは自然を観察するノートのことで、電子化によってペン、音声、写真の各入力機能、GPSで位置を見つけるなどの機能を持つ。

これまでの主な取り組み

実施項目	実施内容
小学校ウォークラリー（2000年7月）	「びわこの日」に子供たちが、電子野帳、デジタルカメラなどを用いて水質等の調査データ収集にスタッフとして参画
NPO環境（水質）調査（2000年8月）	電子野帳を活用して水質の調査データを収集、調査後のレビューで電子野帳の改良・改善点の検討に参画
東南アジア研修生水質調査（2000年11月）	研修生が、電子野帳などを用いて行ったフィールドワークの支援
環境フェスティバル（2000年11月）	ホテル、メダカなど身近な生き物の中から10種類をピックアップし、参加者のマーキングと同時に集計する「生き物マップ」づくりを支援
こどもエコクラブ全国フェスティバル（2001年3月）	全国のこどもエコクラブを対象にデジタルカメラを貸し出し、会場周辺の環境探検を実施。活動報告を子供たちがHP形式で作成し掲載

小学校ウォークラリー・水質調査

「琵琶湖の日（7月1日）」に、赤野井湾流域において、守山市内の小学校児童（速野小学校：約800名）に地域NPO関係者を加えた約900名で、「電子野帳」を用いて水質等の調査活動を行いました。収集したデータは、データベース化を行い、環境情報としてインターネットにより発信しています。



電子野帳を使って記録

歩いた道筋はGPSによって記録

データベース化

珍しい動物を見ました

アイコンをクリックすると観察データを表示

Webで公開

環境クリーン作戦(地域環境美化活動)

自然環境保護に向けた社会貢献活動の一環として、各支店が主体となって、「環境クリーン作戦」と呼ばれる、地域に密着した環境清掃・美化活動に取り組んでいます。

この活動は、1988年当時のNTT新潟支社の若手社員グループが「日本海をきれいにしよう」と結集し、「クリーン・ザ・日本海」と呼ばれる取り組みを行ったことがきっかけとなり、全国へ拡大したものです。

参加者は、社員やその家族、OB・OGなどと幅広く、地域住民や自治体の方などとも連携しながら行っています。

具体的な活動場所は、公園・海岸・河川敷や事業所周辺など、さまざまな場所に及んでおり、地域の状況などに合わせて、各支店が選定しています。

2000年度の参加人数は延べ約20,700人、実施箇所は延べ約800箇所にとんでいます。

2000年度の主な活動例には、夏休みのレジャー等で汚れた長良川の清掃を行う「夏休みで汚れた長良川を美しくしよう



岐阜支店



大分支店



宮崎支店



徳島支店

運動(岐阜支店)や、吉野川交流推進会議に参加し年3回の清掃を実施している「吉野川河口の清掃(徳島支店)また、大分市内及び大分川周辺の清掃活動を行う「環境クリーン作戦2000 in 大分(大分支店) 青島海岸の清掃活動を実施している「環境クリーン作戦2000 in 宮崎(宮崎支店)などがあり、様々な場所で展開しています。

今後も地域の美しい自然を守り、生活および地球環境の向上を目指し、地域に密着した地道な活動を継続していきます。

グループ会社の環境保護活動

NTT西日本グループに帰属するグループ会社(※)における環境保護の取り組みを紹介します。

(※)直接出資20%以上のグループ会社

NTT-ME関西



天然ガス自動車への更改計画

NTT-ME関西では、近畿2府4県において、「情報インフラ設備のメンテナンス」、「LANや各種システムの提案から工事・保守」、各種通信機器の販売から工事・保守などの事業運営を行っており、業務に関連して約2800台の車両を利用しています。

業務用車両については、平均約8年間継続利用していますが、2001年2月以降、約1500台の車両を対象に天然ガス自動車へ順次更改していくこととしました。

天然ガス自動車の導入にあたっては、天然ガススタンドの設置状況が1つの条件となるため、当面はスタンドが多く集まる京阪神エリアを更改の対象としていますが、今後さらに導入拡大を予定しています。

* : この取り組みに対して平成13年度「おおさか環境賞」の奨励賞を受賞しました。

グループ企業におけるISO14001認証取得状況

会社名	組織名	認証取得日
NTT-ME北陸	本社、石川・富山・福井支店	2000年2月10日
NTT-ME関西	大阪支店	2000年8月9日
NTT-ME関西	滋賀支店	2000年9月13日
NTT-ME東海	名古屋支店	2000年9月27日

NTT-ME北陸

道路愛護ボランティア団体登録による清掃活動

富山支店では、富山県土木事務所から、道路愛護ボランティア制度(わがまち・わがみち事業)のボランティア団体として、富山県として第1号の登録認証を受けました。この制度は登録した組織などが道路の決められた区間の清掃や道路の花の世話などを行うものです。富山支店では、毎月第2水曜日の朝に事務所周辺の道路(主要地方道 富山大沢野線 1070m)清掃を多数の社員の参加により継続実施しています。



生分解性商品で企業イメージアップ

福井支店では、生分解性素材を用いた携帯電話ストラップ、マウスパッド、手提げバッグなどの商品を販売しています。生分解性素材は、とうもろこしなどの植物性の「でんぷん」を主原料としたポリ乳酸から作られており、微生物の働きで水と二酸化炭素に分解します。焼却した場合にも有害物質は発生しません。従って、環境に負荷を与えないグリーン商品を作ることができます。



マウスパッド



携帯電話ストラップ